

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	東海支部	(2) 記載者氏名:	石田 文男	会員番号:	11845	事務局整理記入欄	東海 - 24
分水嶺区分	W005洞沢三角点～2171m地点(W004方向)	(3) 山行日:	2005年	3月	13日	(4) 天候	曇時々雪

(5) 参加者氏名および会員番号				サポート要員氏名および会員番号				
石田文男	11845	加藤守彦	12782					
吉田俊樹	13792	加藤和子	12783					
安藤忠夫	7333							
佐野美恵子	支部友							
計			6名		計			0名

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:		奈良井・番所～1780mP北東尾根～1780mP～2171mP～東尾根下降～番所											
アプローチ:		前夜現地泊											
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	番所	宮ノ越							1,170		4:35		
分水嶺到達点	1780mピーク	宮ノ越							1,780	6:50	7:00	B-4	
W005	洞沢	宮ノ越							1,856	7:20	7:35	B-4	
	2171mピーク	宮ノ越							2,171	11:25		B-4	
分水嶺離別点	同上	宮ノ越							2,171		11:40	B-4	
歩行終了点	番所	宮ノ越							1,170	17:30		B-4	
総歩行時間(休憩時間を除く):												12時間15分	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
W005	洞沢	3		未確認	積雪下

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

なし

(9) 水および植生に関連した特記事項

--

(10) その他の特記事項

分水嶺上はツガの若木が密生し、新雪状態とあいまってラッセルと潜りぬけのダブルの苦闘を強いられた。 無雪期の通過も困難を極めるとされる。
--

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:
